



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

木佐木 ただまさ

日本共産党 見解を紹介します

いのちとくらし
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

県議会 君嶋議員が追及 住民の苦難 寄り添った対応を

2月24日神奈川県議会本会議にて君嶋ちか子議員が質問に立ちました。その一部をご紹介します。

コロナ支援の生活資金貸付制度等 不承認が急増 なぜ?

生活が苦しい方々に生活資金を貸し付ける「生活福祉資金貸付制度」はコロナ禍での利用が多くなっており、そのなかで不承認とされる人の割合が昨年6月0.7%→11月14.2%へと跳ね上がっています。



質問する君嶋県議

君嶋議員はこのことについて、不承認の理由が申請者に明かされていない問題があると指摘。

「なぜ不承認になったかわからなければ、次の方策も行き詰まってしまう。また、税金を原資とした事業でありながら、妥当な決定か否かの検証が不可能となります」として、不承認の理由を開示するよう求めました。

知事は、不承認となった人は生活保護など他の支援策の利用を検討する必要があると応じ、「国と協議して、今年1月より不承認の理由を県社会福祉協議会から申請者にお伝えするとともに、申請を受け付けた市町村の社会福祉協議会に対しても、申請者に寄り添った対応を行うよう求めることとしました」と答弁しました。

知事の答弁は、生活困窮の方に迅速な支援を行う点でまだまだ課題がありますが、住民の苦難に

寄り添うものでもありました。まだ生活が苦しく、困っている方はたくさんおられると思います。より利用しやすい制度へと改善を求めています。

3.8国際女性デー

党神奈川ジェンダー平等委員会が宣伝



3月8日は「国際女性デー」でした。女性の参政権も労働者としての権利もなかった20世紀初め、アメリカの女性たちが「パンをよこせ」「参政権を与えよ」と立ち上がった日です。その後、平和と女性の権利のために世界の女性たちが連帯し立ち上がる日となり、今は国連デーのひとつです。

私は日本共産党神奈川県委員会ジェンダー平等委員会の桜木町駅前での宣伝に参加しました。

この現代において、日本の自民党政権はどうか。「女性活躍」とうたいながら、女性の苦しさや心を寄せようという姿勢がまったく感じられません。

「男らしさ」や「女らしさ」を押しつけてきた政治を終わらせ、「あなたらしさ」を大事にするジェンダー平等社会を実現しましょう。